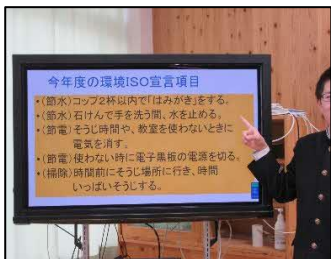







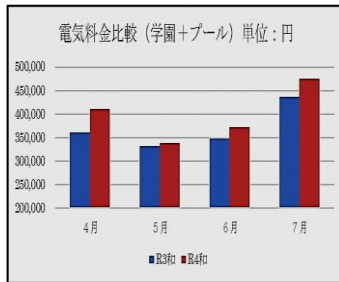
令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：産山村立産山学園 >

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際										
宣言	<div></div> <div>(宣言項目を説明する様子)</div> <div><table><tr><th colspan="2">チェック項目</th></tr><tr><td rowspan="2">節水</td><td>1 コップ2杯以内で「はみがき」ができた。</td></tr><tr><td>2 石けんで手を洗う間、水を止めていた。</td></tr><tr><td rowspan="2">節電</td><td>3 そうじ時間や、教室を使わないときに電気を消すことを意識した。</td></tr><tr><td>4 使わない時に電子黒板やエアコン・ストーブの電源を切ることを意識した。</td></tr><tr><td>掃除</td><td>5 時間前にそうじ場所に行き、時間いっぱいそうじした。</td></tr></table></div> <div>(宣言の進捗状況をチェックするシート)</div>	チェック項目		節水	1 コップ2杯以内で「はみがき」ができた。	2 石けんで手を洗う間、水を止めていた。	節電	3 そうじ時間や、教室を使わないときに電気を消すことを意識した。	4 使わない時に電子黒板やエアコン・ストーブの電源を切ることを意識した。	掃除	5 時間前にそうじ場所に行き、時間いっぱいそうじした。	<p>以下の宣言項目を環境委員会（5～9年生の児童生徒で構成）で決定し、年度当初に各クラスで説明した。また、歓迎遠足、校内オンラインによる学園生集会・学園生総会でも児童生徒に向けての説明を行った。さらに、環境委員が毎週金曜日の帰りの会でチェックをすることにより、宣言の周知徹底を呼びかけた。</p> <p>【環境委員会を中心とした全学園生の宣言項目】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① コップ2杯以内で歯みがきをする。</li><li>② 石けんで手を洗う間、水を止める。</li><li>③ 掃除時間や教室を使わないときに電気を消す。</li><li>④ 使わないときに電子黒板やエアコン・ストーブの電源を切る。</li><li>⑤ 時間前に掃除場所に行き、時間いっぱい掃除する。</li></ol> <p>【活動を進めるための環境委員会の行動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 節水・節電・掃除（美化）の呼びかけをする。</li><li>② 教室のごみの処理をする。（分別やごみ捨て等）</li><li>③ 花の水やりをする。</li></ol>
チェック項目												
節水	1 コップ2杯以内で「はみがき」ができた。											
	2 石けんで手を洗う間、水を止めていた。											
節電	3 そうじ時間や、教室を使わないときに電気を消すことを意識した。											
	4 使わない時に電子黒板やエアコン・ストーブの電源を切ることを意識した。											
掃除	5 時間前にそうじ場所に行き、時間いっぱいそうじした。											
行動	<div></div> <div>(花植えの様子)</div> <div></div> <div>(鯉上げの様子)</div> <div></div> <div>(農業体験の様子)</div>	<p><u>節水・節電・掃除（美化）の呼びかけ</u></p> <p>年間を通して、全学園生が意識できるように、啓発を行い、データ集計を図りながら、実態を分析した。</p> <p><u>校舎内外の美化活動</u></p> <p>年間を通して校舎の周りに花があるように取り組んだ。環境委員会では種から育てたサルビアやマリーゴールド、パンジーをプランターに植え、水やり等を進んで行うことができた。</p> <p><u>地域資源・人材を活用した独自教科「うぶやま学」の取組</u></p> <p>1～4年生では、生活科及び「うぶやま学」を通して10種類以上の野菜を育て、種まき・苗植えから収穫までの過程に多く携わった。</p> <p>5年生は、田植え・鯉上げ・稲刈りを体験し、地域独自の米づくり（鯉農法）を通じて水資源の大切さも学んだ。</p> <p>8年生では、職場体験の一環で、農家の仕事を体験できる場を設定した。農業体験を通して、環境保全の大切さを学んだ。</p> <p>9年生では、産山村の環境問題について話し合う時間を通して、環境問題解決を図っていこうとする意識が高まった。</p>										

	 <p>(清掃活動の様子)</p>	<p>どの活動においても、地域の資源や人材を大いに活用した。</p> <p><b>歓迎遠足での清掃活動</b></p> <p>歓迎遠足において、道路のごみを拾いながら目的地へ向かった。交通事故に注意しながらの活動のため、全体に呼びかけることはせず、環境委員会の学園生を中心に実施した。</p> <p>思った以上にごみが多く、地域の実情にも目を向け、環境保全について考える機会にもなった。</p>																																																
記録	 <p>(SDGs を意識させるための取組)</p>	<p><b>I S O宣言項目のチェックと啓発</b></p> <p>毎週金曜日の帰りの会において、5～9年生の各教室で環境委員が点検し、記録したものを委員会に持ち寄って達成状況を検討した。できていない項目については、呼びかけを行った。本年度は、学園生主体の観点から、学園生1人1台のPCを使い、チェックのデジタル化も行った。</p> <table border="1"><thead><tr><th>チェック項目</th><th>1週目</th><th>2週目</th><th>3週目</th><th>4週目</th><th>5週目</th></tr></thead><tbody><tr><td>コップ二杯以内で歯磨きができた</td><td>7 87.5</td><td>7 87.5</td><td>8 100</td><td>7 87.5</td><td>0</td></tr><tr><td>石鹸で手を洗う間水を止めていた</td><td>8 100</td><td>7 87.5</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>0</td></tr><tr><td>掃除時間や教室を使わないときに電気を消すことを意識した</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>0</td></tr><tr><td>使わないときに電子黒板やストーブの電源を切ることを意識した</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>0</td></tr><tr><td>時間前に掃除場所に行き時間いっぱい掃除した</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>8 100</td><td>0</td></tr><tr><td colspan="6"><b>R4年度 7年生 10月</b></td></tr><tr><td></td><td>5年 8</td><td>6年 16</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>(学園生と担当職員で作成した集計シート)</p> <p><b>SDG s と関連付けた取組</b></p> <p>その他、全学園生がSDG sを意識するために、クイズ形式にして掲示する等、学園生の関心を高める工夫をした。また、8年生の美術の授業では、SDG s と関連した啓発作品（ポスター）を制作し、廊下等に掲示した。</p>	チェック項目	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	コップ二杯以内で歯磨きができた	7 87.5	7 87.5	8 100	7 87.5	0	石鹸で手を洗う間水を止めていた	8 100	7 87.5	8 100	8 100	0	掃除時間や教室を使わないときに電気を消すことを意識した	8 100	8 100	8 100	8 100	0	使わないときに電子黒板やストーブの電源を切ることを意識した	8 100	8 100	8 100	8 100	0	時間前に掃除場所に行き時間いっぱい掃除した	8 100	8 100	8 100	8 100	0	<b>R4年度 7年生 10月</b>							5年 8	6年 16			
チェック項目	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目																																													
コップ二杯以内で歯磨きができた	7 87.5	7 87.5	8 100	7 87.5	0																																													
石鹸で手を洗う間水を止めていた	8 100	7 87.5	8 100	8 100	0																																													
掃除時間や教室を使わないときに電気を消すことを意識した	8 100	8 100	8 100	8 100	0																																													
使わないときに電子黒板やストーブの電源を切ることを意識した	8 100	8 100	8 100	8 100	0																																													
時間前に掃除場所に行き時間いっぱい掃除した	8 100	8 100	8 100	8 100	0																																													
<b>R4年度 7年生 10月</b>																																																		
	5年 8	6年 16																																																
見直し	 <p>(使用量の可視化)</p>	<p>&lt;学園生&gt;</p> <p><b>環境委員会のI S Oチェック</b></p> <p>デジタル化したことで達成度が確認しやすくなった。また、チェックをする学園生の実態に応じて紙媒体でのチェックもできるように配慮した。</p> <p>&lt;職員&gt;</p> <p><b>電気使用量の情報共有</b></p> <p>電気代・使用量の月ごとの変化を事務便り等で職員に共有し、節電を促した。</p> <p><b>適切な電気使用の管理</b></p> <p>各教室のエアコン使用状況を定期的にチェックし、適切な温度設定になっているか、消し忘れがないか等を確認した。</p>																																																

## (2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○毎週金曜日に環境委員会がチェックを行うことで、各学園生が行動をふり返ることにつながり、意識の高まりがみられた。</p> <p>○縦割り掃除の効果もあり、学園全体として掃除時間を意識して掃除場所へ移動し、時間いっぱい掃除することができた。</p> <p>○年間を通じて、自然に親しむ活動を計画・実施することができた。特に、地域の資源や人材を活用することで、活動内容が充実した。また、活用することで、学習が深まるとともに、学園生の意欲向上にもつながった。</p> <p>○電気使用量についてグラフや数値で具体的に示したことで、職員の節電の意識が高まった。</p>	<p>●デジタル化したチェック項目を全体で共有し、改善に向けてどう活用していくかが検討課題である。また、本校の組織上、委員会による活動を1～4年で定期的に行うことが難しく、今後学園全体で実施できる方法を模索していく必要がある。</p> <p>●コロナ禍の状況にあり、換気をしながらの冷暖房の使用となったことで、思うように節電ができなかった。</p> <p>●不要となったプリントの裏紙が活用されないまま余っている状態なので、印刷物そのものを減らすために、ICTを効果的に活用する等、ペーパーレス化を考えていきたい。</p> <p>●学校版環境ISOの取組や学びを、校内に止まらず、家庭や地域にも、積極的に発信していきたい。</p>